











年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

アートクラフト 科目 工業情報数理

教科：アートクラフト 科目：工業情報数理

単位数：2 単位 2

対象学年組：第2学年 A組～組

教科担当者：（A組：埴内）（A組：石下）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（工業情報数理 実教出版）

教科 アートクラフト の目標：

- 【知識及び技能】彫金・鍛金・鑄造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する
- 【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する
- 【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 工業情報数理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
OSの特色と使い方の基礎を理解し、使用することができる。 ワープロ、表計算、プレゼンテーション用ソフトウェア、画像処理用ソフトウェア、プログラムについて理解し、活用することができる。	各種ソフトウェアの適正を考え、表現の試行錯誤をすることができる。 学んだ知識を基にして、応用できる力を身につけ実践することができる。	課題や作業を通して、ネット素材を価値あるものとして扱う姿勢をとり、より自分らしい発想力を養うことによって、主体的で個人的かつ効果的な学びを得ることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 WindowsとMac 【知識及び技能】 Windows・Macの特色と使い方の基礎を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種ソフトウェアの適正を考え、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 ネット素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。	・指導事項 ログインアカウントやパスワードの重要性、個人データの扱いと著作権について。	【知識・技能】 各授業課題を使い、基礎的知識と基本となる技能を学ぶ。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の機会を通じて、個性ある作品制作ができる。より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見し、自主的な学びをおこなうことができる。	○	○	○	26
	定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				0
2 学 期	A 単元 HP作成 【知識及び技能】 HP作成における基礎的な知識を理解し、実践することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 プログラムの適正を考え、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 ネット素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。	・指導事項 個人データの扱いと著作権について。	【知識・技能】 各授業課題を使い、基礎的知識と基本となる技能を学ぶ。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を通じて、個性ある作品制作ができる。より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見し、自主的な学びをおこなうことができる。	○	○	○	26
	定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				0
3 学 期	A 単元 プレゼンテーション発表 【知識及び技能】 プレゼンテーション用ソフトウェアの特色と使い方の応用を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 より効果的なプレゼンテーションをするために、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 有意義で個性ある作品制作ができる。	・指導事項 ログインアカウントやパスワードの重要性、個人データの扱いと著作権について。	【知識・技能】 各授業課題を使い、基礎的知識と応用となる技能を学ぶ。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題や発表の機会を通じて、個性ある作品制作ができる。より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見し、自主的な発表をおこなうことができる。				26
	定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				合計 78





年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

アートクラフト 科目 デッサンⅠ

教科：アートクラフト

科目：デッサンⅠ

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～ 組

教科担当者：（A組：大野 （組： ） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ）

使用教科書：（ ）

教科 アートクラフト の目標：

【知識及び技能】彫金・鍛金・鑄造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 デッサンⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する	短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る	形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	木炭デッサンの描き方を理解し対象物を立体表現する 石膏像（胸像）	木炭紙と木炭の芯抜きの基本 立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する  【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る  【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	12
	石膏像（胸像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	12
2 学期	石膏像（胸像）	立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する  【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る  【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	14
	バルヴェデーレ、ミロのヴィーナス（石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	16
3 学期	バルヴェデーレ、ミロのヴィーナス（石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する  【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る  【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	12
	バルヴェデーレ、ミロのヴィーナス（石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	12
							合計
							78

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

アートクラフト 科目 実習A

教科：アートクラフト 科目：実習A

単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 A組～組

教科担当者：（A組：宇高）（A組：石下）（A組：廣川）（A組：中村）

使用教科書：（なし）

教科 アートクラフト の目標：

【知識及び技能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 実習A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解し、美しい作品を制作出来る。	寸法通りに打出しやロウ付けが出来る。変形絞りができる。精密鋳造の技法を理解し丁寧な素材加工ができる。ガラスの特性を理解し丁寧に制作できる。	貴重な金属材料での制作の意義と歴史的名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「彫金」金属板や線材で植物の立体彫刻を制作させる。「鍛金」銅板で動物の変形絞り制作をさせる。「鋳金」ロストワックス技法によるスターリングシルバージュエリーを制作させる。「ガラス」器の粘土原型と色ガラスを用いたパート・ド・ヴェール作品を制作させる。	彫金・鍛金・鋳造・ガラス技法	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来る。 【思考・判断・表現】寸法通りに打出しやロウ付けが出来る。変形絞りができる。精密鋳造の技法を理解し丁寧な素材加工ができる。ガラスの特性を理解し丁寧に制作できる。 【主体的に学習に取り組む態度】貴重な金属材料での制作の意義と歴史的名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。	○	○	○	16
				○	○	○	20
				○	○	○	20
2 学 期	「彫金」金属板や線材で植物の立体彫刻を制作させる。「鍛金」銅板で動物の変形絞り制作をさせる。「鋳金」ロストワックス技法によるスターリングシルバージュエリーを制作させる。「ガラス」器の粘土原型と色ガラスを用いたパート・ド・ヴェール作品を制作させる。	彫金・鍛金・鋳造・ガラス技法	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来る。 【思考・判断・表現】寸法通りに打出しやロウ付けが出来る。変形絞りができる。精密鋳造の技法を理解し丁寧な素材加工ができる。ガラスの特性を理解し丁寧に制作できる。 【主体的に学習に取り組む態度】貴重な金属材料での制作の意義と歴史的名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。	○	○	○	20
				○	○	○	20
				○	○	○	16
3 学 期	「彫金」金属板や線材で植物の立体彫刻を制作させる。「鍛金」銅板で動物の変形絞り制作をさせる。「鋳金」ロストワックス技法によるスターリングシルバージュエリーを制作させる。「ガラス」器の粘土原型と色ガラスを用いたパート・ド・ヴェール作品を制作させる。	彫金・鍛金・鋳造・ガラス技法	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来る。 【思考・判断・表現】寸法通りに打出しやロウ付けが出来る。変形絞りができる。精密鋳造の技法を理解し丁寧な素材加工ができる。ガラスの特性を理解し丁寧に制作できる。 【主体的に学習に取り組む態度】貴重な金属材料での制作の意義と歴史的名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。	○	○	○	16
				○	○	○	20
				○	○	○	8
				○	○	○	合計 156

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	廣川(鑄金)・宇高(彫金)・神山(鍛金)・氏家(ジュエリー)		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	課題研究		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・アートクラフト科		
単位数	5		
科目の目標	アートクラフト科の集大成としての卒業作品を、デザインから制作までを自主的に行う。		
評価の観点	各技法で高度な技術を習得し、イメージとおりの作品が出来たか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目課題研究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	卒業制作の作成	デザイン・計画・モデル制作の指導	15
5月	卒業制作の作成	デザイン・計画・モデル制作の指導	20
6月	卒業制作の作成	作品制作全般・加工法の指導	20
7月	卒業制作の作成	作品制作全般・加工法の指導	20
8月			
9月	卒業制作の作成	作品制作全般・加工法の指導	25
10月	卒業制作の作成	作品制作全般・加工法の指導	25
11月	卒業制作の作成	作品制作全般・加工法の指導	25
12月	卒業制作の作成	作品制作全般・加工法・仕上げ・展示方法の指導	25
1月	卒業制作の作成	作品制作全般・加工法・仕上げ・展示方法の指導	20
2月			
3月			
合計			195

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	大野(デッサン)・垣内(鍛鉄)・吉田(七宝)・石下(テープカッター)		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	実習A		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・アートクラフト科		
単位数	5		
科目の目標	芸大、美大合格水準のデッサン力を身につける。 高度な鑿の使用法と仕上げ(表面処理)の仕方を習得する。 有線七宝の基本技術の修得が成され、鑑賞に耐える高度な作品制作をする。 テープカッターをデザインに応じた適切な方法で完成させる。		
評価の観点	モチーフらしい形体感を表現出来たか。 鑿を適切に使って打ち出しの作品が制作できたか。 有線七宝の特性を生かした作品が出来たか。銀線による埴線、釉薬の美しさを表現出来たか。 実際に使用できるテープカッターが適切な材料と技術により制作できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目実習Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。鍛鉄技法により打ち出す技術を習得させる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	15
5月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。鍛鉄技法により打ち出す技術を習得させる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	20
6月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。ロートアイアン製品の制作をさせる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	20
7月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。ロートアイアン製品の制作をさせる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	20
8月			
9月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。ロートアイアン製品の制作をさせる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	25
10月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。鍛鉄技法により打ち出す技術を習得させる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	25
11月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。ロートアイアン製品の制作をさせる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	25
12月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。ロートアイアン製品の制作をさせる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	25
1月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。ロートアイアン製品の制作をさせる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	20
2月			
3月			
	合計		195

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	石下		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	アートクラフトデザイン		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	デザインの基本を見直し、完成度の高い作品を制作する		
評価の観点	様々な角度からデザインのイメージを膨らませ、正確に表現することができたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目アートクラフトデザインの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	平面構成の作成	ポスターカラー、アクリル絵の具等での基本的な平面構成を作成させる。	8
5月	平面構成の作成	ポスターカラー、アクリル絵の具等での基本的な平面構成を作成させる。	10
6月	コインデザイン	コインデザインの図案を作成する。	8
7月	コインデザイン	コインデザインの図案を作成する。	8
8月			
9月	紙立体の作成	動物をテーマに、紙のフォルムを使った立体造形を作成させる。	10
10月	色彩・構成の発展	色彩についての理解を深め、質感表現と平面上での立体表現を学ばせる。	10
11月	色彩・構成の発展	色彩についての理解を深め、質感表現と平面上での立体表現を学ばせる。	8
12月	色彩・構成の発展	色彩についての理解を深め、質感表現と平面上での立体表現を学ばせる。	8
1月	色彩・構成の発展	色彩についての理解を深め、質感表現と平面上での立体表現を学ばせる。	8
2月			
3月			
		合計	78

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	垣内		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	鍛金		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	単純な形の成形をイメージとおりに行う。		
評価の観点	鍛金技法を利用し、家庭用品を身近にとらえられるか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目鍛金の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	鍛金 銅製片手鍋の製作	本体の地金取り・焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	8
5月	鍛金 銅製片手鍋の製作	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	10
6月	鍛金 銅製片手鍋の製作	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	8
7月	鍛金 銅製片手鍋の製作	取手の焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	8
8月			
9月	鍛金 銅製片手鍋の製作	本体の地金取り・焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	10
10月	鍛金 銅製片手鍋の製作	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	10
11月	鍛金 銅製片手鍋の製作	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	8
12月	鍛金 銅製片手鍋の製作	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	8
1月	鍛金 銅製片手鍋の製作	取手の焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	8
2月			
3月			
		合計	78

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	垣内・石下		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	アートクラフトⅡ		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	様々な角度から創造のアイデア、表現方法を探り、グループでまとめる。 宝石の基礎知識や取り扱い方を学ぶ。		
評価の観点	グループ作業の中で個々の考えを構築出来たか。 宝石の適切な取り扱い方がわかる。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目アートクラフトⅡの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	平面から立体 宝石の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>立体の表現技術の理解と応用</li> <li>宝石に要求される条件</li> </ul>	8
5月	平面から立体 宝石の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>concept.target.disply.layout anatomy</li> <li>ダイヤモンドの基礎知識</li> </ul>	10
6月	平面から立体 宝石の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>logotype.coloreへの考え方</li> <li>パール・ベリルの基礎知識</li> </ul>	8
7月	構成 宝石の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>実用性のある立体(PD制作)</li> <li>フェルドスパーの基礎知識</li> </ul>	8
8月			
9月	構成 宝石調べ学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>展開図を応用したパッケージ</li> <li>宝石の基礎知識について調べる</li> </ul>	10
10月	構成 宝石調べ学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面から立体を想像し展開図へ</li> <li>調べた内容を模造紙にまとめ、プレゼン</li> </ul>	10
11月	色彩 アンティークジュエリー調べ学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>展開図の製図・組み立て・着色</li> <li>アンティークジュエリーについて調べる</li> </ul>	8
12月	色彩 アンティークジュエリー調べ学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>展開図の製図・組み立て・着色</li> <li>アンティークジュエリーについて調べる</li> <li>調べた内容を模造紙にまとめる</li> </ul>	8
1月	色彩 アンティークジュエリー調べ学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>展開図の製図・組み立て・着色。作品の意味合いを探求する</li> <li>調べた内容を模造紙にまとめ、プレゼン</li> </ul>	8
2月			
3月			
合計			78

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	喜多崎		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	プレゼン		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	(1) 写真編集ソフト、ページレイアウトソフトの使い方や取り扱いを学習する。 (2) 進路先に適したポートフォリオを制作する。 (3) 中学生をターゲットとしたアートクラフト科のパンフレットを制作する。		
評価の観点	写真編集ソフト、ページレイアウトソフトの使い方や取り扱いについて理解できたか。 進路先に適したポートフォリオを制作することができたか。 中学生をターゲットとしたアートクラフト科のパンフレットを制作することができたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目プレゼンの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	ポートフォリオについて	コンセプトを決定し、ページ校正を考えさせる。	8
5月	写真撮影	作品の写真撮影、ライティング	10
6月	紙面編集・校正	ページレイアウトソフトを用いた編集及び校正	8
7月	紙面校正	ページレイアウトソフトを用いた校正	8
8月			
9月	ポートフォリオ完成	完成作品の講評	10
10月	アートクラフト科のパンフレットについて	ターゲット・ページ数などの再確認とコンセプトに決定。ページ担当者の決定。	10
11月	アートクラフト科のパンフレットについて	ターゲット・ページ数などの再確認とコンセプトに決定。ページ担当者の決定。	8
12月	紙面編集および写真撮影	作品の写真撮影およびページレイアウトソフトによる紙面編集。	8
1月	校正	制作した紙面を持ち寄り、よりよくするためにはどうしたら良いか話し合いの場をもたせる。	8
2月			
3月			
合計			78

## 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	廣川		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	映像		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	(1) デジタルビデオカメラ、映像編集ソフトの使い方や取り扱いを学習する。 (2) 映像で自分のイメージを表現する力を養う。 (3) 実際の撮影の工程を学び、知識を高める。		
評価の観点	デジタルビデオカメラ、映像編集ソフトの使い方や取り扱いについて理解できたか。 映像で自分のイメージを表現することができたか。 実際の撮影の工程を理解できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目映像の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	デジタルビデオカメラの使い方	デジタルビデオカメラの使い方と注意事項	8
5月	映像編集ソフトの使い方	映像編集ソフトの使い方と注意事項	10
6月	映像編集ソフトの使い方	映像編集ソフトの使い方と注意事項	8
7月	映像編集ソフトの使い方	映像編集ソフトの使い方と注意事項	8
8月			
9月	アニメーションについて	静止画の連続でアニメーションを制作。	10
10月	アニメーションについて	静止画の連続でアニメーションを制作。	10
11月	ストップモーションムービーについて	静止画の連続で動画を制作。	8
12月	自由制作	作品のテーマやコンセプトを決め、制作する。	8
1月	自由制作	作品のテーマやコンセプトを決め、制作する。	8
2月			
3月			
	合計		78

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	大野		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	デッサンⅡ		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	基本形体の把握を深め、美大合格水準のデッサン力を身に付ける。		
評価の観点	短時間でモチーらしい形体感を表現できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目デッサンⅡの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	デッサン 基礎作品の作成	鉛筆の表現方法と形態把握の確認。 基礎作品の作成	8
5月	デッサン 基礎作品の作成	鉛筆の表現方法と形態把握の確認。 基礎作品の作成	10
6月	デッサン 受験出題作品の作成	石膏・静物デッサン 構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	8
7月	デッサン 受験出題作品の作成	石膏・静物デッサン 構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	8
8月			
9月	デッサン 受験出題作品の作成	石膏・静物デッサン 構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	10
10月	デッサン 受験出題作品の作成	石膏・静物デッサン 構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	10
11月	デッサン 受験出題作品の作成	石膏・静物デッサン 構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	8
12月	デッサン 受験出題作品の作成	石膏・静物デッサン 構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	8
1月	デッサン 受験出題作品の作成	石膏・静物デッサン 構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	8
2月			
3月			
		合計	78

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	垣内		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	光造形(選択)		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	(1) CGソフト、造形機の使い方や取り扱いを学習する。 (2) ジュエリーのデザイン力を高める。 (3) デザイン、造形、加工と実際の作業工程を学び、知識を高める。		
評価の観点	学んだ技法で作品が制作できたか。 CADの特性を生かした造型感覚を習得できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目光造形の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	コンピュータの使い方	ソフトの操作方法を習得させる。	8
5月	CGソフトの使い方	デザイン画製作。	10
6月	CGにおけるジュエリーデザインについて	CADの特性を理解させる。3Dデザインソフトの使い方	8
7月	CGにおけるジュエリーデザインについて	CADの特性を生かしたジュエリーを制作させる。	8
8月			
9月	造形加工について	光造形ソフトの使い方と理解。	10
10月	造形加工について	光造形機データに変換処理。	10
11月	造形加工について	光造形機による原型制作と鋳造	8
12月	表面処理について	石膏鋳造、ロストワックス、表面処理法など。	8
1月	鋳造について	研磨、仕上げ加工を行う。	8
2月			
3月			
合計			78

# 令和5年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	氏家		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	アートクラフト研究		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	基本的なとんぼ玉の制作技法を習得する。		
評価の観点	学んだ技法で作品が制作できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目とんぼ玉の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	とんぼ玉	理型材、ガラス融解用具の扱い方を学ぶ	8
5月	とんぼ玉	基本的な玉の作り方を学ぶ	10
6月	とんぼ玉	基本的な玉の作り方を学ぶ	8
7月	とんぼ玉	基本的な玉の作り方を学ぶ	8
8月			
9月	とんぼ玉	レース玉を作るなど技法の展開を図る	10
10月	とんぼ玉	レース玉を作るなど技法の展開を図る	10
11月	とんぼ玉	レース玉を作るなど技法の展開を図る	8
12月	とんぼ玉	動物などパーツが多く難易度の高い技法を習得する	8
1月	とんぼ玉	動物などパーツが多く難易度の高い技法を習得する	8
2月			
3月			
		合計	78